

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	令和5年 7月 24日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府城陽市寺田東ノ口16番地、17番地	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 城陽市長 奥田 敏晴

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	市独自環境マネジメントシステム（J-EMS）
適 用 範 囲	市が直接管理する全施設、指定管理等施設（協力を求めるとともに、エネルギー管理を行う）
導 入 年 月 日	2012年4月1日
認 証 番 号	
基 本 方 針	別添城陽市環境マネジメントシステムマニュアル2ページの「環境方針」のとおり
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	①エコプランの推進 温室効果ガス排出量 平成25年度比9.0%削減 ②各所属の環境配慮事業の推進 エコオフィス活動の推進を図るため、維持管理項目5項目、所属が設定する独自項目1項目を掲げている。
目標を達成するための取組の内容	①第4期エコプランの推進 令和3年度温室効果ガス排出量 6,987t-CO2 (平成25年度比26.4%減少) ②各所属ごとに設定 各事業ごとに進捗を管理。実施計画に基づき実施した。
目標を達成するための取組の進捗状況	①第4期エコプラン推進手順書に基づき省エネ推進活動に取り組んだ。温室効果ガス排出量並びにエネルギー使用量ともに削減できており、省エネ活動を継続して推進できていると考える。 ②エコプラン実施項目確認表で各所属が点検・確認を行うことで、エコオフィス活動の推進が図れている。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	①第4期エコプラン推進手順書に基づき省エネ推進活動に取り組んだ。温室効果ガス排出量並びにエネルギー使用量ともに削減できており、省エネ活動を継続して推進できていると考える。 ②エコプラン実施項目確認表で各所属が点検・確認を行うことで、エコオフィス活動の推進が図れている。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について、年2回遵守評価を実施した。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	令和4年度はJ-EMSを運用してから11年目となり、様々な取組が浸透し、確実に環境保全活動が推進されたものと評価する。 (具体的指示事項について) ・平成30年度から開始した第2次城陽市環境基本計画及び令和5年度から開始する城陽市地球温暖化対策実行計画に即したJ-EMSに改訂すること。 ・環境監査員に必要な情報をわかりやすく提供することで、監査スキルの向上に努めること。 ・環境監査員の作業負担等を考慮し、円滑な監査の実施に努めること。 ・引き続き、環境への負荷を低減する活動を継続的に実施すること。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。